

令和7年度 作文 正答・正答例及び採点基準

※問題の条件に一致しない場合は、不可とする。【問】(二)(三)の問題においては、誤字、脱字、文法上の誤りは、減点の対象とする。ただし、問題冊子にふりがなが振られた漢字の誤字については、減点の対象としない。

小問	正答・正答例		採点基準・評価上の留意事項	配点	
					計
(一)	・勉強や仕事のため ・教養を身につけるため ・楽しい時間を過ごすため		・正答のいずれかの内容が、文章中から抜き出して書かれていること。	5	50
(二)	(例)・自分の内面との対話につながる (こと。) (14字) ・自分の内面と対話ができる (こと。) (12字)		・正答例と同様の内容が書かれているものを正答とする。 ・字数不足、字数の超過は0点とする。	5	
(三)	よさ	(例)・欲しい情報を瞬時に手に入れられること。	・正答例と同様の内容が書かれているものを正答とする。	5	
	問題点	(例)・大量の情報に触れることはできても、その情報が右から左へと目の前を通りすぎていきがちになること。	・正答例と同様の内容が書かれているものを正答とする。	5	
(四)	(略)		・読書のよさを伝える記事を、文章とこれまでの読書経験とを関連付けて書いていること。 ・誤字、脱字、文法上の誤りは、減点の対象としない。	15	
(五)	(略)		・これまでに自分から情報を得るためにどのような行動をしてきたかと、その情報を得る中でどのように考えが広がったり深まったりしたかについて書いていること。 ・誤字、脱字、文法上の誤りは、減点の対象としない。	15	